

育児期にリバウンドを経験した成人アトピーの経過（29 歳女性）

症例 ID : 001-20-AT2 | 記録日 : 2004 年 9 月 8 日

1. 診断・治療前経過

幼少期から関節などにかゆみがあり、皮膚科で処方された薬を塗って症状を落ち着かせていました。成人後は耳切れや手のあかぎれなど、アトピー症状が徐々に目立つようになりました。

出産後、娘さんの顔に赤い湿疹が目立つようになったことをきっかけに、ステロイドについて調べるようになりました。ステロイドを急にやめることもできず困っていた時期に、紹介を受けて松本医院を受診されました。受診時にはステロイドを中止しており、顔が真っ赤に腫れた状態でした。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から皮膚科で処方された外用薬を使用していました。成人後は入浴後に毎日塗布して症状をしのいでいました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	幼少期から成人後まで断続的に使用していました。
中止時期	松本医院受診前にステロイドの使用を中止していました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～成人後	来院前	関節のかゆみ、耳切れ、手のあかぎれがあり、皮膚科薬を使用して一時的に症状を落ち着かせていました。
出産後	来院前	娘さんの湿疹をきっかけにステロイドについて調べ、使用をやめる方向で考えるようになりました。
松本医院受診時	治療開始	ステロイド中止後で、顔は真っ赤に腫れていました。漢方治療を開始しました。
開始後～約 2 か月	ピーク期	顔が真っ赤になり、汁が多く出ました。枕に巻いたタオルが頬にこびりつくほどでした。体全体も赤く腫れて皮膚が張り、強いかゆみがありました。漢方風呂の中ではかゆみが軽く、入浴中に掻くと皮膚がボロボロ取れました。
治療開始後半年頃	経過後半	全体的な赤みは明らかに少なくなりましたが、かゆみは残っていました。夜はぐっすり眠れるようになりました。
治療開始後 1 年頃	安定期	かゆみはほとんどなくなり、初対面の人にはアトピーであったことが分かりにくいほど皮膚状態が落ち着きました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後から約 2 か月間の、顔の赤み・腫れ・滲出液、全身の赤みと張り、強いかゆみが重なった時期です。育児中でゆっくり入浴しにくく、娘さんが寝た後に深夜の入浴を行うなど、睡眠不足も重なっていました。

5. 困りごと

・初めての育児をしながら、顔と全身のリバウンド症状に対応する必要がありました。

- ・外出しづらい皮膚状態の中で、娘さんの予防接種などの用事がありました。
- ・夜間のかゆみと深夜の入浴により、睡眠不足が続きました。

6. 経過のまとめ

治療開始後2か月ほどは顔の赤み・腫れ・滲出液と全身の強いかゆみが続きましたが、半年頃には全体的な赤みが明らかに少なくなり、夜も眠れるようになりました。

1年頃にはかゆみがほとんどなくなり、皮膚状態も初対面ではアトピーであったことが分かりにくい状態まで落ち着きました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。